

平成30年度 事業報告

〈平成30年度西区社会福祉協議会の取組〉

平成30年度は、「地域共生社会」の構築に向け、地区社協活動の強化や身近な地域のつながり支えあい活動推進事業の充実などを通じた地域支援を進めるとともに、地域における生活課題や社会的孤立等の課題解決を図るため、共助の層を厚くする取り組みを推進しました。

また、会員向け新助成金制度の創設等による会員の拡充を図るとともに、より一層地域から信頼される組織を目指し、社会福祉法人としての運営の健全化、コンプライアンスの強化にも力を入れて取り組みを進めました。

I 地域における支え合いの仕組みづくりの支援（重点項目）

1 生活支援体制整備事業の推進

第1層生活支援コーディネーターをはじめ区社協全体で、地域ケアプラザや区役所とも連携し、高齢者の生活支援・介護予防・社会参加を中心とした支えあいの地域づくりを推進しました。

(1) 生活支援コーディネーターによる高齢者の生活支援・介護予防の充実のための基盤整備

生活支援体制整備事業を推進するにあたり、地域ケアプラザ、区役所との協働により、以下の会議の運営に携わりました。また、地域ケアプラザにおいて全職種で連携し事業推進するため、地域ケアプラザ版推進会議を開催協力しました。

- ① 区レベル推進会議の開催 5回
- ② 各地域ケアプラザレベル推進会議への参加 14回
- ③ 市レベル推進会議への出席 12回
- ④ 第一層コーディネーター連絡会への出席 12回

(2) 協議体・住民ネットワークづくりの実施

① 地区別の協議体等の実施に向けた支援

全地区において地区別協議体開催に向けた調整・相談支援、会議出席をしました。

② 第1層協議体(生活支援体制整備事業検討会)の開催 3回

社会福祉施設、介護保険事業者を中心とした協議体を開催し、専門職から見える課題の共有や地域活動・サービスの活用について検討を行いました。

(3) 社会資源の拡充・開発に向けた取り組み

① 社会福祉施設向け訪問ヒアリングの実施とサービス開発

地域貢献活動を検討中の区内社会福祉施設に訪問ヒアリングを実施し、地域ケアプラザや区役所と共に新たな活動・地域資源開発に向けて取り組みました。

訪問ヒアリング実施施設：4施設 うち、2施設において、高齢者サロンと認知症カフェの立ち上げ

② 社会福祉施設等連絡会の開催（本会専門機関部会として実施）

区内福祉施設の地域貢献活動事例について、取組事例の報告を通して共有し、今後の動きにつなげる機会としました。

(4) 広報・啓発

① パネル展示およびチラシの配布

「地域包括キャンペーン」および「にこまちフォーラム」において、生活支援体制整備事業や生活支援コーディネーターの取組をまとめたパネル展示やチラシ配布により周知しました。

② コーディネーター通信の発行

区内の地域資源情報や事業周知に向け、地域ケアプラザと協力し、通信を4回発行しました。

(5) 西区生活支援コーディネーター連絡会の実施

各地区や地域ケアプラザ内での進捗状況確認や区域での連携した地域づくりに向けて検討しました。(年12回)

(6) 生活支援コーディネーター業務の可視化・行動分析について

① コーディネーターの役割や活動を見える化するため、地域ケアプラザと共に西区共通書式の行動記録作成に区社協および全地域ケアプラザで協働して取組みました。

② 年間の生活支援コーディネーターの活動を可視化させるため、各行動記録の内容等の分析を学識者に依頼すると共にこれらをまとめました。

2 身近な地域のつながり・ささえあい活動の推進

年間を通じ、全職員がコミュニティソーシャルワークの視点で、個別課題の発見と地域支援体制づくりを目指して業務に取り組みました。また、地域ケア会議へ参加し、地域ケアプラザや区と共に課題共有や解決に向けて関わりました。

(1) 困難ケースの把握と解決に向けた取組

区社協が行う個別支援事業(あんしんセンター、生活福祉資金、ボランティア、送迎、移動情報センター)では他業務担当や地区担当との連携により困難を抱えた方に対して、課題解決に向けて取り組みました。

また、地域包括支援センター定例カンファレンスや地域ケア会議等に出席し把握した困難ケースについて、職員会議等で年間を通じて随時協議を行いました。

3 地区社協支援

地域福祉活動の中核を担う地区社協が地域の様々な活動団体の協議体としての役割を發揮し、地域課題の解決に向けた活動が展開できるよう、地区社協の組織運営や活動の支援、研修、助成を行いました。

(1) 地区社協研修の実施

① 地区社協研修会 [区社協主催研修]

地区社協の体制強化や活動の充実に向けて、つぎの研修を開催しました。

月日	内容	人数
1月22日(火)	【地区社協視察研修～他地域の実践事例を学ぶ】 〈視察先〉 大和市社会福祉協議会 〈内容〉 ① 大和市社協の地区社協支援について 佐川博之氏(大和市社協ボランティア振興課長) ② 地区社協の事例報告について 福田北地区社協会長・下鶴間地区社協会長	地区社協など 20名

② 第4回よこはま地域福祉フォーラム [市社協との共催研修]

横浜市社会福祉協議会及び18区社会福祉協議会で共催し、地区社協関係者等に参加を依頼しました。

月日・場所	内容	人数
12月6日(木) ・関内ホール ・はまぎんホール ・横浜市健康福祉総合センター	テーマ:「おたがいさま」の縁づくり～縁で彩る支えあい～ 【全体会】 基調講演「地域でつながる、暮らしがにつながる」 講師 八森 淳氏(つながるクリニック院長) 【分科会】 第1:一人ひとりつ暮らしに届く縁 第2:広がる縁でつながる暮らし 第3:紡いだ縁を明日へつなぐ 第4:地域と施設・深まる縁・新たな縁	全体参加者数 1,692名 うち、 西区参加者数 16名

③ よこはまの地区社協全体会(地区社協研修) [市社協との共催研修]

横浜市社会福祉協議会及び18区社会福祉協議会で共催し、地区社協関係者等に参加を依頼しました。

月日・場所	内容	人数
2月12日(火) 関内ホール	(1) 地区社協検討会の報告 (2) 講義・地区社協実践例の報告 講師 室田信一氏(首都大学東京人文社会学部准教授) ① 戸塚区踊場地区社協 「話し合いから生まれるまちづくり」 ② 瀬谷区瀬谷第四地区社協 「認知症徘徊模擬訓練までのあゆみ」 ③ 保土ヶ谷区保土ヶ谷地区社協 「新たな担い手の確保の取組」	全体参加者数 471名 うち、 西区参加者数 14名

④ にこまちスキップ・アップ講座への参加

区との共催講座(西区地域福祉保健計画(にこまちプラン)に係る講座)を地区社協研修と位置づけ、地区社協役員等に参加を依頼しました。

月日・場所	内容	人数
7月9日(月) 西区役所会議室	にこまちスキップ・アップ講座① 「地域共生社会の実現に向けて」 講師:原田正樹氏(日本福祉大学社会福祉学部教授)	全体参加者数 100名 うち、 地区社協等 31名
9月6日(木) 西区役所会議室	にこまちスキップ・アップ講座② “ごちゃまぜ”共生社会が創る日本の未来 講師:雄谷良成氏(社会福祉法人佛子園理事長)	全体参加者数 67名 うち、 地区社協等 29名
10月16日(火) 西区役所会議室	にこまちスキップ・アップ講座③ 「共に歩んで 共に支え合う～子どもも高齢者も障害者も自分らしく暮らすには～」 講師:大原裕介氏(社会福祉法人ゆうゆう理事長)	全体参加者数 61名 うち、 地区社協等 21名

(2) 地区社協活動の支援

地区担当を設け、各業務担当者等と連携を諮りながら、各地区の会議や地区活動等に参加するなど、地区社協の支援に取り組みました。

① 活動費等助成

項目	内 容		財源
【活動費運営助成】	300 千円	6地区	市社協補助金
	210 千円	6地区	共同募金配分金
	436 千円	6地区	賛助会費還元金
【事業費助成】	1,748 千円	6地区	共同募金配分金
	108 千円	3地区	共同募金配分金
	18 千円	2地区	共同募金配分金
【小地域活動応援金】	900 千円	6地区	善意銀行配分金
【年末たすけあい募金配分】	1,000千円	6地区	年末たすけあい募金助成配分

(3) 地区社協分科会の定例開催

地区社協の体制強化や活動の充実に向け、地区社協会長・地区社協事務局長等を対象とした分科会を開催し、地区社協間の情報交換や課題検討等を行いました。18区の地区社協代表者で集い、地区社協活動の活性化に向けて話し合う場「地区社協検討会」と連動し分科会活動を進めました。（詳細はP31）

(4) 地区アセスメントシートの更新

地区社協支援に向け、地区ごとの社会資源や情報を集約したデータを更新し、区・地域ケアプラザと共有・活用しました。

4 地域ケアシステムの推進支援

(1) 地域ケア会議への参加

各地域ケアプラザで開催された地域ケア会議に出席し、具体的対応についてのケース検討を行いました。
【身近な地域のつながり・支えあい活動推進事業へも記載】

開催ケアプラザ	月日	内 容	出席職員数
戸部本町 地域ケアプラザ	12月5日(水)	地域ケア会議(包括レベル)	2名
	3月29日(金)	地域ケア会議(包括レベル)	3名
浅間台 地域ケアプラザ	5月29日(火)	地域ケア会議(個別レベル)	1名
	6月14日(木)	地域ケア会議(包括レベル)	1名
	11月22日(木)	地域ケア会議(個別レベル)	1名
	2月25日(月)	地域ケア会議(包括レベル)	1名
宮崎 地域ケアプラザ	5月25日(金)	地域ケア会議(個別レベル)	1名
	6月28日(木)	地域ケア会議(個別レベル)	2名
	10月1日(月)	地域ケア会議(個別レベル)	1名
	1月29日(火)	地域ケア会議(包括レベル)	1名
藤棚 地域ケアプラザ	5月29日(火)	地域ケア会議(包括レベル)	2名
	8月30日(木)	地域ケア会議(個別レベル)	2名
区役所	3月11日(月)	地域ケア会議(区レベル)	1名

(2) 地域ケアプラザ との連携

①地域ケアプラザ連絡会への参加

地域ケアプラザの所長、包括支援センター、コーディネーターが一同に会し、区・区社協と共に地域支援等に関して情報共有や意見交換を行いました。

月日・場所	内 容	人数
9月28日(金) 西区役所	○平成30年度の重点取組についての実施状況と今後について ○次年度以降の地域ケアプラザ連絡会について	26名

②地域活動交流コーディネーター連絡会の開催

地域ケアプラザと連携した地域支援を進めていくために、地域活動交流コーディネーター連絡会を開催し、地域情報等の共有や情報交換などを行いました。

月日・場所	内 容	人数
4月26日(木) 西区役所	○本年度の連絡会の進め方について ○にこまちプランの推進に向けて (にこまちフォーラムについて/ にこまち子ども応援団について) ○市地域交流研究部会報告	9名
5月25日(金) 戸部本町地域ケアプラザ	○よこはま東部ユースプラザより(概要説明) ○にこまち子ども応援団について ○市地域交流研究部会報告	10名
6月22日(金) 藤棚地域ケアプラザ	○サブコーディネーター研修について ○第3期にこまちプランについて ①けあぷらっと歩こう ②情報の一元化 ③シニア世代の社会参加	6名
7月27日(金) 宮崎地域ケアプラザ	○サブコーディネーター研修について ○第3期にこまちプランについて ①けあぷらっと歩こう ②情報の一元化 ③シニア世代の社会参加	7名
8月24日(金) 西区福祉保健活動拠点 フクシア	○地域活動団体の共有について ①各自主事業等の共有 ②各貸館団体の一覧作成 ○にこまち子ども応援団について	8名
9月28日(金) 西区役所	○サブコーディネーター研修について ○にこまち子ども応援団について ○地域活動団体の共有	9名
10月26日(金) 特養ハマノ愛生園	○サブコーディネーター研修について ○にこまち子ども応援団について/ けあぷらっとについて ○市地域交流研究部会報告	6名
12月7日(金) 戸部本町地域ケアプラザ	○サブコーディネーター研修について ○にこまち子ども応援団について ○にこまちフォーラムについて	8名
1月25日(金) 西公会堂会議室	○サブコーディネーター研修について ○にこまち子ども応援団について/にこまちフォーラムについて ○市地域交流研究部会報告	10名
3月4日(月) 戸部本町地域ケアプラザ	○サブコーディネーター研修振返りについて ○にこまち子ども応援団・にこまちフォーラム振返りについて ○次年度の地域活動交流連絡会のあり方について	7名

③地域ケアプラザサブコーディネーター研修の開催

地域活動交流部門のスキルアップと、区内地域ケアプラザ間の連携や交流を目的に開催しました。

月日・場所	内容	人数
1月31日(木) 西区福祉保険活動拠点 フクシア	○自己紹介・情報交換 ○チランの作り方講座 講師：株式会社オープン 高橋 誠一 氏	24名

④地域ケアプラザ所長会への参加

区役所、区社協、地域ケアプラザとの情報交換を目的とした西区地域ケアプラザ所長会に事務局長が参加しました。(年6回)

Ⅱ ボランティア活動の推進・支援(重点項目)

1 ボランティア活動に関する相談・登録・調整・情報提供

(1) ボランティア相談・登録・調整

ボランティアを必要としている方とボランティア活動をしたい方からの相談を受け、相互の調整を図りました。活動後に双方へ聞き取りを行い、継続的な依頼・活動につなげました。

① ボランティア登録

ボランティア活動を希望する個人及びグループに登録を依頼し、ボランティア講座の情報提供やニーズ紹介を行いました。また、本年度は個人ボランティア登録更新調査を実施しました。

	個人(人)			ボランティアグループ	
	男性	女性	計	グループ数	人数
新規登録者(H30)	16	24	40	11	46
前年度新規登録者	17	29	46	9	160
累計 H31年3月末現在	129	164	293	107	2,154

② 単発依頼

	依頼 件数	紹介 件数	調整中	調整 つかず	取り下げ	紹介 人数	調整数	対応率	前年度 対応率
児童	6	4	0	1	1	9	18	83%	100%
障害	8	5	2	1	0	6	22	88%	93%
高齢	106	95	1	3	7	238	171	90%	98%
外国人	0	0	0	0	0	0	0	-	-
限定せず	12	11	0	0	0	50	60	92%	100%
その他	4	4	0	0	0	16	7	100%	100%
H30 合計	136	119	3	5	8	319	278	90%	97%
H29 合計	126	98	16	2	8	299	199		
比較増減	10	21	△13	3	0	20	79		

③ 継続依頼

	依頼 件数	紹介 件数	調整中	調整 つかず	取り下げ	紹介 人数	調整数	対応率	前年度 対応率
児童	7	4	1	0	2	16	11	57%	100%
障害	12	7	2	1	2	23	37	58%	100%
高齢	16	12	3	0	1	45	65	75%	100%
外国人	0	0	0	0	0	0	0	-	-
限定せず	4	3	1	0	0	3	14	75%	100%
その他	0	0	0	0	0	0	0	-	-
H30 合計	39	26	7	1	5	87	127	67%	100%
H29 合計	47	26	17	0	1	45	87		
比較増減	△8	0	△10	1	4	42	40		

(2) ボランティアニーズの把握

ボランティア活動を希望する方への情報提供のため、地域ケアプラザや特別養護老人ホーム等にボランティア募集状況等の聞き取りを行いました。

(3) ボランティアに関する情報の提供

ボランティア活動に関する情報をまとめ提供(発信)しました。

区社協広報紙 「もくせい」	区民に福祉への理解や関心を深めるため、区社協事業や地域福祉活動・ボランティア活動を紹介しました。 年3回発行、各43,500部。タウンニュース紙面上に掲載。その他関係機関に送付。
西区ボランティア センターニュース 「花スイセン」	ボランティア募集情報やボランティア各種講座のお知らせ、ボランティア団体の活動紹介などを掲載しました。 年4回発行、各900部。登録ボランティアおよびその他関係機関、区社協会員に送付。
ホームページ	ホームページ内で、ボランティアニード情報、講座・イベント情報の専用ページを設け、ボランティア募集や助成金の案内など随時最新情報を掲載しました。

2 ボランティア・市民活動への育成・支援

(1) ボランティア活動者の育成

① ボランティア入門ミニ講座の開催

はじめてボランティア活動をする方や、活動を初めて間もない方等を対象に開催しました。(全3回)

月日・場所	内容	人数
7月11日(水) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」 8月17日(金) 10月15日(月) にしく市民活動支援センター にしとも広場	『ボランティア入門ミニ講座』 ・ボランティアと心構えや留意点 ・ボランティア活動保険について(補償内容やながれ) ・車椅子体験、高齢者擬似体験	10名

※9/7,11/15,1/23は参加者なく未実施

② ハマのオヤジゼミナールの開催

退職後またはこれから定年を迎える男性を対象に、地域での仲間づくりやボランティア活動へつながるきっかけづくりとして、導入編の講演会および講座を開催しました。

1) 「セカンドライフを考える」

月日・場所	内 容	人数
12月16日(日) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	【講演会】「セカンドライフを考える」 講師：青木 羊耳氏(シニア産業カウンセラー) 内容：趣味活動を通じた仲間づくりやボランティア活動の必要性や楽しさについての講演とグループワーク	13名
1月20日(日) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	【交流会】 内容：導入講座受講者を対象に、地域活動やボランティア活動についての想い・現況などを座談会形式で話し合い	4名

2)暮らしのお役立ち講座「DIY講座」(全3回) [NTP高齢へも記載]

趣味や特技を活かした地域活動や仲間づくりのきっかけづくりとして藤棚地域ケアプラザと共催実施しました。

月日・場所	内 容	人数
10月24日(水) 11月 3日(土) 11月14日(水) 藤棚地域ケアプラザ	講師：DIYアドバイザー神奈川 第1回：網戸の張り替え 第2回：庭木の剪定 第3回：住まいの防災対策	延べ29名 (参加者実数 12名)

(2) ボランティア活動者の支援

① 『ボランティアの学び舎シリーズ』

ボランティア活動者等のスキルアップを目的に実施しました。

月日・場所	内 容	人数
2月23日(土) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	講師：釜石市相談支援事業所ライトハウス 藤原伸哉 氏 鈴木 雄 氏 内容：「災害時の要援護者支援を考える」	26名

※ 西区災害ボランティア養成講座・ガイドボランティア養成講座と共催実施

② ボランティア活動保険等の受付

安心してボランティア活動が行えるよう、ボランティア関係の保険についてご案内と受付を行いました。

保険名	ボランティア活動保険	ボランティア活動 行事務用保険	福祉サービス総合補償
30年度(件数)	145 (うち天災プラン53)	243	6
29年度(件数)	138 (うち天災プラン44)	206	5
比較増△減	7	37	1

③ 社会福祉功労者表彰

区内で地域福祉活動やボランティア活動、福祉施設や事業所等で勤務する職員(常勤および非常勤職員)で功労のあった方に対し、表彰を行いました。

月日・場所	内容	人数
2月22日(金) 崎陽軒本店 6階会議室	受賞者 ・地域福祉活動功労者 44名 ・善意銀行寄付者 1件 ・永年勤続者(常勤) 43名 ・永年勤続者(非常勤) 83名(重複受賞者1名) セレモニー (民族音楽)根本ノブヒロ氏 交流会	(受賞者) 171名 (当日) 86名

(3) ボランティア活動団体および他機関実施事業への協力

① ボランティア関係講座への開催協力、講師としての職員派遣

月日・場所	内容	人数
9月11日(火) 野毛山荘	【講座名】 横浜シニア大学 「さまざまなボランティア活動とその心構え」 【内容】 ・ボランティア活動を行う際の心構えや活動の紹介 ・活動しているボランティアからの話 ・ボランティアセンターや地域ケアプラザの役割説明	25名
2月27日(水) 宮崎地域ケアプラザ	【講座名】 宮崎地域ケアプラザ 「ボランティア活動」～はじめの一歩～ 【内容】 ・ボランティア活動者の体験談 ・コミュニケーションゲーム ・ボランティアの基礎知識・ボランティア保険 ・事業案内(ケアプラザ・区ボランティアセンター)	12名

② ボランティア・市民活動分科会の定例開催

区社協会員のボランティアグループ・市民活動団体同士の情報交換と、区社協からの情報提供を行うために、定期的で開催しました。(詳細はP32参照)

③ NVC(にこまちボランティアキャンプ)による団体間のつながりづくり

区社協会員であるか否かに拘わらず、ボランティアグループ・市民活動団体など多様な組織・個人同士のつながりについて考え、取り組みました。(詳細はP26参照)

(4) 個人・企業の社会貢献活動の支援

① フードドライブ活動(食料支援)の推進

まだ食べられるのに、いろいろな理由で処分されてしまう食品を、『たべもの』に困っている人や団体に届ける「フードドライブ」活動を実施しました。

寄附受付期間	寄付件数	配分団体数	主な配分先
第1回: 6月1日～6月15日	27件(160点)	14団体	高齢者食事会、多世代交流サロン、 認知症カフェ、子ども食堂、青少年支 援施設、路上生活者支援団体
第2回: 9月3日～9月17日	21件(145点)	14団体	
第3回: 12月3日～12月17日	14件(91点)	15団体	
第4回: 3月1日～3月15日	33件(260点)	15団体	
合計	95件(656点)	58団体	

(5) ボランティアセンター機能の強化

① 職員のスキルアップ

各種研修や勉強会等に職員が参加するほか、毎月1回職員間でのミーティングを行い、ボランティア活動やニーズ収集・対応、ボランティア団体との関係構築等のスキルアップにつなげました。

② ボランティアセンター運営委員会の開催

ボランティアセンター業務の運営、ボランティア活動の振興、寄附金品の受付・配分等に審議するため、ボランティアセンター運営委員会を3回開催いたしました。(詳細はP33参照)

3 ボランティア・市民活動への運営支援

(1) 西区社協ふれあい助成金

より豊かな市民社会の実現のために、市民の自発性のもと、西区内もしくは横浜市内で行われる非営利な地域福祉推進事業や障害福祉推進事業の支援を目的として実施しました。配分については、助成金等審査委員会にて審議し決定しました。

「よこはまふれあい助成金」を基本とした助成金

助成区分	件数	金額
要援護者支援区分(集いの場活動)	12件	1,400,000円
要援護者支援区分(家事・生活支援活動)	1件	160,000円
要援護者支援区分(配食活動)	2件	320,000円
障害児者支援区分(障害児者支援活動)	3件	250,000円
障害児者支援区分(当事者活動)	3件	160,000円
障害児者支援区分(宿泊・日帰りハイク活動)	2件	100,000円
障害児者支援区分(視覚聴覚障害者支援活動)	1件	50,000円
福祉のまちづくり区分	14件	490,000円
健康増進区分	2件	20,000円
合計	40件	2,950,000円

(詳細はP36 別表1を参照)

(2) 年末たすけあい募金助成

地域の皆さまの協力により集まった「年末たすけあい募金」を、西区内における年末時期の様々な福祉活動に活かし、福祉のまちづくりを推進するため、助成金として配分しました。配分については、助成金等審査委員会にて審議し決定しています。

助成区分	件数	金額
年末たすけあい募金助成金	18件	1,555,000円

(詳細はP37 別表2を参照)

(3) にこまち助成金

横浜市に寄附された約1億円を財源とし平成22年に設置された「にこまち基金」事業として、にこまちプラン(西区地域福祉保健計画)を推進していく活動を支援するため、つぎの団体へ助成しました。

※A区分:まちづくり、B区分:サービスづくり、C区分:人づくり

(①申請金額が5万円以下のもの(会長決裁で決定) ②申請金額が5万円を超えるもの(審査委員会)

申請区分	団体数	助成金額	
A区分 (まちづくり)	17団体	<申請金額 5 万円以下>: 6団体	295,000 円
		<申請金額 5 万円を超える>: 11団体	2,005,000 円
B区分 (サービスづくり)	7団体	<申請金額 5 万円以下>: 3団体	150,000 円
		<申請金額 5 万円を超える>: 4団体	896,000 円
C区分 (人づくり)	0団体	<申請金額 5 万円以下>: —	—
		<申請金額 5 万円を超える>: —	—
合計	24団体	3,346,000 円	

(詳細はP38別表3を参照)

4 善意銀行の運営

区民の団体や個人の方からの寄付金品を受け付け、寄付者の意向に基づき地域の福祉活動等のために活用しました。ボランティアセンター運営委員会において審議の上配分をしています。

① 寄託

内容	件数	合計
金銭寄付	19件	547,635円
物品寄付	8件	カレンダー、手帳、鉛筆 他

(詳細はP39 別表4を参照)

② 配分

内容	件数	合計
金銭配分	11件	<ul style="list-style-type: none"> ・地区社協小地域活動応援金 @150,000×6 地区= 900,000 ・ふくしの学び応援金 @5,000×4 校= 20,000 @10,000×1 校=10,000 配分金合計 930,000 円
物品配分	2件	当事者グループ等へ配分

Ⅲ 災害ボランティアネットワークの推進（重点項目）

1 『西区災害ボランティアネットワーク』の推進

(1) 定例会等の開催協力

災害ボランティアネットワーク会員のスキルアップを目的とした総会・定例会の開催、コーディネーター養成講座、HUG(避難所運営ゲーム)講座等の実施を通じて、横浜市西区災害ボランティアネットワークの運営支援を行いました。

月日	内 容	人数
4月21日(土)	定例会	7名
5月20日(日)	第3地区ふれあい春まつり参加	4名
5月24日(木)	HUG 講座(西区ケアマネ連絡会)	5名
5月26日(土)	総 会(1)平成29年度事業報告および決算報告 (2)平成30年度事業計画(案)および収支予算(案)	15名
6月3日(日)	藤棚まつり参加	4名
6月16日(土)	定例会	7名
7月21日(土)	定例会・第5地区納涼祭り参加	7名
8月11日(土)	定例会・公開HUG 講座	15名
9月15日(土)	定例会・市民防災センター見学会	12名
10月1日(月)	赤い羽根街頭募金協力	5名
10月20日(土)	定例会	7名
10月25日(木)	県立横浜平沼高等学校 地域貢献デーへの協力「防災学習」	7名
11月10日(土)	定例会	6名
12月15日(土)	定例会・災害伝言ダイヤル訓練	6名
1月19日(土)	定例会	7名
1月26日(土)	災害ボランティアコーディネーター養成講座①	12名
2月9日(土)	災害ボランティアコーディネーター養成講座②	22名
2月23日(土)	災害ボランティアコーディネーター養成講座③	20名
3月9日(土)	第4地区みんなのまつり参加	2名
3月10日(日)	災害ボランティアコーディネーター養成講座④/定例会	28名

IV 福祉啓発・福祉教育の推進

1 福祉啓発・福祉教育の推進

(1) 福祉教育活動の相談調整

学校等からの相談に対応し、講師として協力したほか、講師紹介等を行い協力しました。

月日	依頼者	内容	延べ参加者数
6月14日(木) 6月22日(金)	薬糧開発(株)	ボランティア入門講座入門 高齢者施設ボランティア体験	2名
10月18日(木)	横浜市交通局	人権研修 バリアフリー講座 (車椅子体験・高齢者理解)	11名
10月25日(木)	神奈川県立横浜平沼高校	地域貢献デー (共同募金運動、災害ボランティア)	70名
11月13日(火)	横浜市立みなとみらい本町 小学校	福祉学習(視覚障害理解)	36名
11月20日(火)	横浜市立平沼小学校	福祉学習(視覚障害理解)	95名
11月30日(金)	横浜市立岡野中学校	福祉学習 (聴覚障害理解・手話体験、車椅子体験)	110名
12月4日(火)	横浜市立一本松小学校	福祉学習(聴覚障害理解・手話体験)	29名
12月8日(土)	横浜市立平沼小学校 戸部本町地域ケアプラザ	平沼フェスティバル(福祉社会に迫ろう)	50名
12月19日(水)	横浜市立一本松小学校	福祉学習(視覚障害理解)	51名
1月23日(水)	横浜市立西前小学校	福祉学習(視覚障害理解)	70名
2月1日(金)	横浜高島屋労働組合	バリアフリー講座(車椅子体験)	8名
3月8日(金)	武田薬品工業(株)	聴覚障害理解・手話体験	8名

(2) ふくしの学び応援金による福祉学習の促進

学校における福祉学習を促進するため、講師謝金等の経費を助成する「ふくしの学び応援金」は平成30年度、区内小中学校に対して周知を行い、5件の申請を受け付けました。

申請校	講座名	内容	金額
横浜市立みなとみらい本町小学校	福祉学習(障害理解)	視覚障害理解	5,000 円
横浜市立平沼小学校	福祉学習(障害理解)	視覚障害理解	5,000 円
横浜市立岡野中学校	福祉学習(障害理解)	聴覚障害理解・手話体験	10,000 円
横浜市立一本松小学校	福祉学習(障害理解)	聴覚障害理解・手話体験	5,000 円
横浜市立西前小学校	福祉学習(障害理解)	視覚障害理解	5,000 円

(3) 福祉教育機材の貸出

学校・職場で福祉体験を行う際の車椅子等の備品を必要とする方へ貸し出しました。また、障害者施設の就労支援の目的も兼ね、NPO法人無限夢工房に車椅子の点検・清掃作業を、年間を通して委託しました。

(件数)

機材名	車椅子	高齢者疑似体験セット	妊婦体験セット	アイマスク	白杖	点字器	ユニバーサルデザイングッズ
H30年度	139	19	2	1	4	2	1
H29年度	85	10	3	1	0	0	2
比較増△減	54	9	△1	0	4	2	△1

(4) 福祉教育推進のための研修の実施

① 先生のための福祉講座(18区社協共催)の開催

教員を対象に、地域福祉や当事者への理解を深め、今後の学校教育に活かせる視点や手法等を修得することを目的に、横浜市教育委員会、横浜市社協及び18区社協合同で講座を実施しました。

月日・場所	内 容	参加数
8月23日(木) 横浜市健康福祉総合センター	①導入講座「福祉とは、福祉教育とは」 講師:学習院大学文学部教育学科 教授 長沼 豊 氏 ②グループ討議「福祉教育をより効果的に進めていくために」	39名

V 総合相談

1 福祉相談事業

日常的な様々な福祉ニーズに対して、相談者や相談内容に応じた情報提供や関係機関につなげるなどのサービス提供に努めました。

2 地域における権利擁護事業(あんしんセンター事業)の推進

判断能力や身体能力が不十分な高齢者や障害者が安心して日常生活を送ることができるように支援するため、権利擁護に関する相談に対して、関係機関と連携を取りながら対応しました。また、福祉サービス利用援助、定期訪問・金銭管理サービス、財産関係書類等預かりサービスを契約に基づき実施しました。

(1) 地域福祉権利擁護事業(あんしんセンター事業)

① 権利擁護に関する相談

ア) 件数

		高齢者		障害者			その他不明	合計	
		認知症	その他	身体	知的	精神			
H30年度	38	10	28	10	5	1	4	1	49
H29年度	36	3	33	6	2	1	3	6	48

イ) 内容(複数内容あり)

内容	金銭管理・ 財産関係等預かり	今後の生活設計	金銭・消費契約	相続・遺言	家族親類との関係	財産侵害	日常生活上の問題	隣人知人との関係	福祉サービス利用	就業関係	成年後見制度	その他	合計
H30年度	48	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2	0	52
H29年度	43	0	3	0	0	2	0	0	0	0	1	0	49

② 契約によるサービス(定期訪問・金銭管理サービス・財産関係書類等預かりサービス)

ア) 契約件数

	契約件数		新規契約件数 (他区からの移管含む)		終了件数 (他区への移管含む)	
	H30年度	H29年度	H30年度	H29年度	H30年度	H29年度
定期訪問・金銭管理サービス	40	36	14	20	10	9
高齢者	31	27	13	19	9	8
障害者	9	9	1	1	1	1
財産関係書類等預かりサービス	2	2	0	2	0	3
高齢者	2	2	0	2	0	2
障害者	0	0	0	0	0	1

終了理由 H30年度 死亡:2、成年後見:4、施設入所:3、移管:1
H29年度 死亡:6、成年後見:3

イ) 相談等延べ件数

		H30年度	H29年度	比較増減
契約前対応 (電話・訪問他)	電話	366	463	△97
	来所	1	3	△2
	訪問	72	140	△68
	手続き援助	0	6	△6
	合計	439	612	△173
契約者対応 (電話・訪問・各種手続き他)	電話	2,660	1,839	821
	来所	11	3	8
	訪問	593	532	61
	手続き援助	95	74	21
	合計	3,559	2,448	1,111
終了後対応	電話	22	11	11
	来所	10	2	8
	訪問	20	15	5
	手続き援助	1	3	△2
	合計	53	31	22

③ 広報・啓発活動

ア) 講座の開催

区民を対象に西区・西区社会福祉協議会・西区4地域ケアプラザ(地域包括支援センター)社会福祉士会が連携し、講座を開催しました。

月日・場所	講座名	内容	人数
6月16日(土) 戸部本町地域ケアプラザ	家族信託 勉強会 (共催事業)	区民対象。家族信託について理解を深める目的で開催。遺言、成年後見制度などとの違いについても説明がありました。 講師:司法書士横浜西口アシスト 堀江直樹氏	17名

④ 西区役所及び地域ケアプラザ(地域包括支援センター)との連携

ア) 社会福祉士会への参加

権利擁護事業に関して情報交換を行うため、月1回の会議に出席しました。

イ) 成年後見サポートネット全体会への協力

西区役所が開催した成年後見サポートネット全体会に2回参加し、事前打ち合わせ、当日運営に協力しました。

ウ) 西区生活支援課 所内研修への参加

区役所職員向けに、あんしんセンター利用の手続きや連携方法について説明しました。

エ) ケース検討会等の実施・参加

契約者への支援方法の確認や情報共有のため、ケース検討会を行いました。(随時)

(2) 市民後見人候補者、受任者への支援

成年後見制度の利用を必要とする高齢者や障害者の権利を擁護し、地域での生活を身近な市民が支える仕組みづくりを目指し、養成講座を受講した市民後見人候補者に対してフォローアップを行いました。

サポートネット分科会

西区役所や区内地域ケアプラザ社会福祉士とともにサポートネット分科会を開催、市民後見人バンク登録者とともにケース検討を行い、市民後見制度について見識を深めました。

月日・会場	内容	市民後見人バンク登録者参加人数
7月30日(月) 西区福祉保健活動拠点	ケース検討	7名

3 生活福祉資金等貸付事業

(1) 生活福祉資金貸付事業

生活福祉資金:低所得者、障害者や日常生活上療養または介護を必要とする高齢者のいる世帯などに対して、資金の貸付と必要な援助を行うことにより、その世帯の生活の安定と経済的自立を図ることを目的として実施しました。

総合支援資金:失業等、日常生活に困難を抱えており、生活の再建のために継続的な相談支援と生活費、一時的な資金貸付を委託事業として実施しました。

① 貸付件数 緊急小口3件 福祉資金(教育支援資金含む)10件 合計13件

新規相談 資金項目	紹介相談 件数A	対応 回数	貸付実施 件数B	対応 回数	合計	
					A+B(C)	対応回数
総合支援資金	7	11	0	0	7	11
臨時特例資金	0	0	0	0	0	0
緊急小口資金	21	62	3	89	24	151
福祉資金 (教育支援資金含む)	35	93	10	320	45	413
不動産担保(要保護含む)	7	13	0	0	7	13
生活福祉資金以外の制度	24	135	-	-	24	135
合計	94	314	13	409	107	723

② 相談件数

相談項目 資金項目	制度内容相談			貸付相談			返済相談			合計
	面接	電話	その他 封書等	面接	電話	その他 封書等	面接	電話	その他 封書等	
総合支援資金	2	18	32	0	4	4	4	20	75	159
臨時特例資金	0	0	1	0	0	0	0	1	3	5
緊急小口資金	10	51	33	24	19	58	2	12	54	263
福祉資金(教育支 援資金含む)	29	259	229	100	114	235	10	48	158	1,182
不動産担保 (要保護含む)	7	69	39	12	15	50	0	0	5	197
生活福祉資金 以外の制度	58	119	163	-	-	-	-	-	-	340
平成 30 年度合計	106	516	497	136	152	347	16	81	295	2,146
平成 29 年度合計	81	602	288	125	168	471	18	122	569	2,444
比較増△減	25	△86	209	11	△16	△124	△2	△41	△274	△298

(2) 生活福祉資金貸付世帯への支援取り組みの実施

月次報告を基に償還状況を確認、四半期ごとに担当民生委員への残高を確認する書類をお渡ししました。
生活福祉資金償還滞納ケースについて、担当民生委員と連携を図り対象ケースを整理、把握した世帯の状況に応じて、継続支援、懇談会等事業の実施、事務移管等の手続きを行いました。

内 容	件 数
住所不明調査 (あて先不明で返送されてきた 借受者等)	6件
滞納世帯への調査	(相談会対象者)5件

(3) 生活困窮者自立支援施策への対応

区生活困窮者自立支援事業担当課からの依頼により、定例支援調整会議へ出席しました。

(西区区役所 3階会議室にて開催)

回数	月日
第1回	6月27日(水)
第2回	10月24日(水)
第3回	2月27日(水)

(4) 食料支援

区や個人から要請があった世帯について、状況をヒアリングして必要性を検討し、食糧支援を行っている団体を紹介しました。

食糧支援団体	件数
セカンドハーベスト・ジャパン	22件
その他の団体	0件

VI 福祉ニーズのある方への支援

1 子育て支援

(1) 親子ふれあい会への支援

各地区社協で行われている「親子ふれあい会」に対し活動費を助成しました(財源:共同募金配分金)。

地区名	金額
第二地区	48,000円
第六地区	60,000円
合計	108,000円

(2) 子どもの居場所づくりに関する勉強会の開催

① 「子どもたちの現状を伝える勉強会」

【NTP児童、児童福祉関係分科会にも記載】

月日・場所	内容	人数
2月27日(水) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	勉強会「子どもたちの現状について」 講師: 宮本 康子氏(公益財団法人よこはまユース) 内容: 子どもたちのおかれている現状や支援の必要性についての講義とグループワーク	18名

(3) 西区子育て講演会の開催

区内の子育て支援活動者、乳幼児やその保護者等を対象に、西区地域子育て支援拠点「スマイル・ポート」と共催で講演会を開催しました。

月日・場所	内容	人数
10月31日(水) 西区地域子育て支援拠点 スマイル・ポート	講演会「みんなどうしている? わが子とスマホなどの付き合い方 ～ITメディア時代の子育て～」 講師: 土谷 みち子氏(関東学院大学こども発達学科教授) 内容: メディアとこどもの成長発達について、大人が大切にしていきたいこと	50名

2 障害児・者支援

(1) 出会いの場「来て、見て、知って、つながって」の開催

障害福祉関係分科会にて企画し、区内の障がい者本人および関係者(施設職員、家族など)の立場や生活課題を多様な視点で捉え、分科会員同士の理解を深めるため場づくり事業を行いました。

月日・場所	内 容	参加人数
6月26日(火) フクシア	障害のある方との「違い」ではなく、日常生活や趣味について話し、「共通点」を通して、障害当事者の「その人自身」の理解をすすめる目的で実施しました。	18名
8月30日(木) にしろくカフェ		22名
12月13日(木) にしとも広場		15名

(2) 西区地域自立支援協議会への参画

区内の障害関係施設で構成する「西区地域自立支援協議会」の一員として、全体会議(年2回)の他、各種会議等に参加・協力しました。

参加会議名	内 容
担当者会議	全参加施設の担当者の集まり
余暇支援部会	障害児者への余暇支援についての検討
防災会議	災害時対応についての検討・施設見学等

(3) 障害者福祉関係分科会の定例開催

障害児者関係団体・施設を中心とした分科会を定例的に開催し、共通課題の検討や分科会事業の実施等を積極的に行いました。(詳細はP32参照)

3 高齢者支援

(1) ハマのオヤジゼミナールの開催 (再掲)

退職後またはこれから定年を迎える男性を対象に、地域での仲間づくりやボランティア活動へつながるきっかけづくりとして、導入編の講演会および講座を開催しました。

① 講演会「セカンドライフを考える」

月日・場所	内 容	人数
12月16日(日) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	【講演会】「セカンドライフを考える」 講師:青木 羊耳氏(シニア産業カウンセラー) 内容:趣味活動を通じた仲間づくりやボランティア活動の必要性や楽しさについての講演とグループワーク	13名

② 暮らしのお役立ち講座「DIY講座」(全3回) [NTP高齢へも記載]

趣味や特技を活かした地域活動や仲間づくりのきっかけづくりとして藤棚地域ケアプラザと共催実施しました。

月日・場所	内容	人数
10月24日(水) 11月 3日(土) 11月14日(水) 藤棚地域ケアプラザ	講師: DIYアドバイザー神奈川 内容: 第1回: 網戸の張り替え 第2回: 庭木の剪定 第3回: 住まいの防災対策	延べ29名 (参加者実数 12名)

(2) 高齢者福祉関係分科会の定例開催

高齢者関係団体・施設を中心とした区社協会員の集まりである分科会を定例的に開催し、その中でふれあい会の活動について情報共有しました。また、ふれあい会会員向けの研修会についても伝達し、当日の運営にも協力していただきました。

(3) 関係機関との連携

担い手から受けた相談について、包括につなげるなどの連携をしました。

4 ふれあい会に対する支援

(1) 「西区ふれあい福祉推進事業」の業務受託

西区役所からの業務を受託し、「ふれあい会」(高齢者見守り会)の申請・報告(年2回)の受付、確認作業や事務説明会を行いました。

① 報告・申請書類の受付について

報告・申請書類の受付 (4月・10月)	平成29年度報告:55団体 平成30年度申請:55団体
------------------------	--------------------------------

② 事務説明会の開催

毎年4月に提出していただく報告・申請書類について説明する目的で、西区役所とともに開催しました。2019年度からの制度変更を多くの団体、担い手に周知するため、2回行いました。

月日・場所	内容	参加人数
3月4日(月) 西区役所 3AB 会議室	以下の項目について説明し、質疑応答した。 ・平成30年度報告書類について ・平成31年度からの制度変更について ・平成31年度申請書類について ・平成31年度 活動票様式変更について	33団体 42名
3月11日(月) 西区役所 3AB 会議室		22団体 34名

(2) ふれあい会等を対象とした研修会の実施

ふれあい会活動等を行っている担い手を対象に研修会を実施しました。

月日・場所	内容	参加人数
1月25日(金) 西公会堂 1号会議室	「事例発表会 西区の見守り活動のいま」 第二地区、第4地区の活動を紹介。ふれあい会の担い手が発表した。	ふれあい会から 36団体 60名 ふれあい会以外 15名

(3) 西区役所主催 ふれあい会向け研修への協力

西区役所が主催した担い手向け研修に、社会福祉士会とともに協力しました。

月日・場所	内容	参加人数
10月25日(木) 西区役所 3AB 会議室	「私は騙されない！そんな人が一番危ない！？ ～最近の消費者被害について～	31名

5 送迎サービス事業

送迎ボランティアの協力により、通常の交通手段では外出が困難な在宅高齢者や障害者の方を対象に送迎用福祉車両による送迎サービスを実施しました。

横浜市の委託事業として介護保険対象者の通院等を目的とした「外出支援サービス」とそれ以外の方を対象とした区社協の送迎サービスの2本立てで実施しています。

※道路運送法第79条6及び同法施行規則第51条の10の規程に基づいた登録団体として実施

【登録番号】関神福第126号

(1) 利用状況および登録者

① 利用内容

(件数)

利用内容	外出支援	区社協送迎	総数
H30年度 医療(通院等)	243	18	261
H30年度 福祉サービス利用 他	0	0	0
H30年度 合計	243	18	261
H29年度 合計	251	18	269
比較増△減	△8	0	△8

② 利用登録者

(人数)

新規利用登録	外出支援	区社協送迎	総数
H30年度登録者	4	0	4
H29年度登録者	6	1	7
比較増△減	△2	△1	△3

(2) 送迎ボランティア育成・支援

① 送迎ボランティア登録者数

年度	人数
H30年度登録者	8
H29年度登録者	10
比較増△減	△2

② 送迎ボランティアミーティングの開催

送迎サービスの運転ボランティアを対象に情報提供・情報交換のためのミーティングを実施しました。

月日・場所	内容	参加人数
6月25日(月) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	○送迎サービス事故発生状況についての報告 ○交通安全についてDVD鑑賞 ○安全運転チェックテスト ○情報交換 他	8名

③ 研修

西区社会福祉協議会で「6区(西、南、中、港南、磯子、金沢)合同安全運転講習会」を開催し、ボランティアの方が参加しました。

月日・場所	内容	参加人数
1月17日(木) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	○DVDによる講習 (1)駐車場での通行法 (2)所長の決断ー自動車事故防止を目指してー ○グループワーク(情報交換等) テーマ「より良い活動に向けた工夫について」 「活動の困難事例」	1名 (全区22名)

6 交通遺児等への支援

(1) 交通遺児援護金の交付

区内の20歳未満の交通遺児を抱える世帯に対し、事故見舞金や入学・卒業の激励金を交付する事業ですが、平成30年度は0件でした。

(2) 低所得者援護費の給付

行路病人に対して援護金を区民児協が給付しました。

給付件数		内容	金額
H30年度	36件	旅費36件	10,980円
H29年度	43件	旅費43件、食費0件、その他0件	11,780円
比較増△減			△800円

(3) 小災害見舞金の交付

区内で小災害(火事等)に被災された世帯に対し見舞金を交付しました。

災害発生日	件数・内容	金額
8月21日(火)	火災 2件	20,000円
10月7日(日)	火災 1件	5,000円
9月29日(土)～30日(日)	台風による風水害 1件	5,000円
H30年度 合計	火災 3件、風水害 1件	30,000円
H29年度 合計	火災 4件	55,000円

7 移動情報センター

横浜市より「移動情報センター事業」の委託を受け、平成30年1月から「西区移動情報センター」を開設しました。障害のある方やご家族等からの移動に関する相談に応じて、サービス事業者やボランティア等の紹介・コーディネートを行いました。また、西区移動情報センターのリーフレットを作成し、区内・近隣区の移動支援事業所や相談支援機関等を訪問して周知に努めました。その他、移動支援に関する情報の収集・更新および移動支援に関わるボランティア等の発掘・育成に向けた取組を行いました。

(1) 相談対応・コーディネート

相談件数:90件

調整件数:

電話	メール、FAX等	来所	訪問	フォローアップ
1,116件	60件	39件	75件	81件

障害種別:

身体	知的	精神	その他
44件	28件	7件	11件

相談内容:

通院等必要不可欠な外出	余暇等社会参加のための外出	通学	通所	事業所の求人情報提供	その他
12件	40件	23件	7件	1件	7件

(2) 移動情報センター推進会議の開催

月日	内容	人数
5月22日(火)	○相談実績・対応状況について ○H30年度事業計画・年間予定について 他	18名
9月19日(水)	○相談実績・対応状況について ○周知・啓発状況について ○ボランティア講座について 他	19名
12月19日(水)	○相談実績・対応状況について ○周知・啓発状況について ○ガイドボランティア講座について 他	14名
3月19日(火)	○相談実績・対応状況について ○周知・啓発状況について ○ボランティア啓発講座について ○2019年度の運営について 他	12名

(3) 横浜市ガイドボランティア事業の事務取扱

登録者数:

支援対象者	ガイドボランティア
8名	11名

活動状況:【通学】40件

※西区移動情報センター以外の登録者およびガイドボランティア対象外のボランティア対応として【余暇】および【通所】の活動あり。

(4) ボランティア等の発掘・育成に向けた取組

月日	内容	人数
12月17日(月)	ガイドボランティア講座～知的障害編～ ○講義「障がい理解について」 ○グループワーク	18名
2月23日(土)	ボランティア啓発講座「災害時の障害者支援について学ぼう ～当事者の声を聞く。実際の被災地から～」 ○講話「災害時の当事者の課題、復旧・復興までの避難生活について」 ○グループワーク	26名

VII 福祉情報発信機能の充実

1 広報紙の発行・ホームページの活用

(1) 広報紙の発行

区社協のPRや地域の福祉活動の紹介、ボランティア関係情報の提供を通じて、区民に福祉への理解を深めてもらうことを目的としてタウンニュース紙面に掲載し、年3回発行しました。西区内のタウンニュース中・西版が届かない地域へは戸別にお届けするとともに、区内施設等へ配架を依頼し、広報を行いました。

① 広報紙「もくせい」の発行

発行月	内容	発行部数
7月 (第74号)	○シリーズ「こどもの居場所」第五地区ほうかごひろば ○社協からのお知らせ(移動情報センター、ボランティア募集情報等) ○その他:平成29年度事業報告・決算報告、賛助会員・善意銀行のお礼 他	43,500部
10月 (第75号)	○シリーズ「こどもの居場所」第3地区藤棚ふれあい食堂 ○社協からのお知らせ(ボランティア講座紹介、フードドライブ報告 等) ○その他:赤い羽根共同募金、賛助会員・善意銀行のお礼 他	43,500部
2月 (第76号)	○シリーズ「こどもの居場所」生活創造空間にし「みんなの節供」 ○社協からのお知らせ(災害ボランティア講座紹介、助成金案内 等) ○その他:共同募金「寄付つき商品」の取組報告、ふれあい会研修報告、 賛助会員・善意銀行のお礼 他	43,500部

(2) ホームページの活用

ホームページを平成28年4月にホームページリニューアルし、区社協PRやボランティア講座等の周知に活用すると共に、随時更新しました。また併せてフェイスブックページの作成を行い、随時更新を行いました。

西区社協ホームページ(http://www.yoko-nishishakyo.jp/)	
西区社協フェイスブック(https://www.facebook.com/yokonishisya)	
H30年度更新回数	54回
H29年度更新回数	49回

VIII 西区地域福祉保健計画の推進

1 第3期西区地域福祉保健計画の推進とNTPによる事業展開

平成22年度より「西区社協地域福祉活動計画」と「西区地域福祉保健計画」を一体的に策定しております。

本年度は「第3期西区地域福祉保健計画(にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン)」の3年目となり、区役所・地域ケアプラザとともに地区支援チームの一員として計画を推進・支援しました。

(1) にこまち助成金の配分(再掲)

横浜市に寄附された約1億円を財源とし平成22年に設置された「にこまち基金」事業として、にこまちプラン(西区地域福祉保健計画)を推進していく活動を支援するため、つぎの団体へ助成しました。

- (①申請金額が5万円以下のもの(会長決裁で決定) ②申請金額が5万円を超えるもの(審査委員会))

申請区分	団体数	助成金額	
A区分（まちづくり）	17団体	<申請金額 5 万円以下>:	6団体 295,000 円
		<申請金額 5 万円を超える>:	11団体 2,005,000 円
B区分（サベスづくり）	7団体	<申請金額 5 万円以下>:	3団体 150,000 円
		<申請金額 5 万円を超える>:	4団体 896,000 円
C区分（人づくり）	0団体	<申請金額 5 万円以下>:	— —
		<申請金額 5 万円を超える>:	— —
合計	24団体	3,346,000 円	

（詳細はP38別表3を参照）

(2) NTP(にこまちライブプロジェクト)による事業展開

4つテーマ別に(高齢、障害、子ども、ボランティア)、区全体の課題解決に向けて、「NTP(にこまちライブプロジェクト)」と称して具体的な取り組みを行いました。

【高齢分野】

①ハマのオヤジゼミナールの開催(再掲)

退職後またはこれから定年を迎える男性を対象に、地域での仲間づくりやボランティア活動へつながるきっかけづくりとして、導入編の講演会および講座を開催しました。

1) 講演会「セカンドライフを考える」

月日・場所	内容	人数
12月16日(日) 西区福祉保健活動拠点「フクシア」	【講演会】「セカンドライフを考える」 講師: 青木 羊耳氏(シニア産業カウンセラー) 内容: 趣味活動を通じた仲間づくりやボランティア活動の必要性や楽しさについての講演とグループワーク	13名

2) 暮らしのお役立ち講座「DIY講座」(全3回)

趣味や特技を活かした地域活動や仲間づくりのきっかけづくりとして藤棚地域ケアプラザと共催実施しました。

月日・場所	内容	人数
10月24日(水) 11月 3日(土) 11月14日(水) 藤棚地域ケアプラザ	【実践講座】暮らしのお役立ち講座「DIY講座」 講師: DIYアドバイザー神奈川 内容: 第1回: 網戸の張り替え 第2回: 庭木の剪定 第3回: 住まいの防災対策	延べ29名 (参加者実数 12名)

【障害分野】

①出会いの場「来て、見て、知って、つながって」の開催

障害福祉関係分科会にて企画し、区内の障害者本人および関係者(施設職員、家族など)の立場や生活課題を多様な視点で捉え、分科会員同士の理解を深めるため場作り事業を行いました。

月日・場所	内容	人数
6月26日(火) フクシア	障害のある方との「違い」ではなく、日常生活や趣味について話をし、「共通点」を通して、障害当事者の「その人自身」の理解をすすめる目的で実施しました。	18名
8月30日(木) にしるくカフェ(おひさまプラザ)		22名
12月13日(木) にしとも広場		15名

【子ども分野】

① 勉強会準備会等の実施

子どもに関する施設職員、地域の活動者、区、ケアプラザが集まり、学齢期の子どもの居場所づくりを進める目的で意見交換、勉強会の企画を行いました。

月日			検討メンバー
第1回 4月13日(金)	第2回 5月16日(水)	第3回 7月10日(火)	9名
第4回 9月25日(火)	第5回 1月22日(火)		

② 子どもの居場所づくりに関する勉強会の開催（再掲） ※児童福祉関係分科会の中で開催

月日・場所	内容	人数
2月27日(水) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	勉強会「子どもたちの現状について」 講師：宮本 康子氏(公益財団法人よこはまユース) 内容：子どもたちのおかれている現状や支援の必要性についての講義とグループワーク	18名

③ 西区子どもの居場所マップの作成

区内の“こどもの居場所”を地域の子供達をはじめ、学校関係者、児童関係施設、地域住民に広く周知し活用を広げていくため、マップを作成し配布しました。

特に小中学校長会や西区民生委員児童委員協議会、キッズクラブ連絡会等の場で、マップ作成目的の説明や配布協力依頼を行いました。

【ボランティア分野】

① にこまちボランティアキャンプ(NVC)

西区内で活躍するボランティア団体・施設の活動をお互いによりよく知り合い、つながり・取り組みについて考える意見交換会を実施しました。

月日			検討メンバー
第1回:7月18日(水)	第2回:9月13日(木)	第3回:1月7日(月)	11名

(3)にこまちスキップ・アップ講座の開催(区との共催)

西区地域福祉保健計画(にこまちプラン)の推進に向け、区と共催し講座を開催しました。

月日・場所	内容	人数
7月9日(月) 西区役所会議室	にこまちスキップ・アップ講座① 「地域共生社会の実現に向けて」 講師：原田正樹氏（日本福祉大学社会福祉学部教授）	地域住民等 100名
9月6日(木) 西区役所会議室	にこまちスキップ・アップ講座② “ごちゃまぜ”共生社会が創る日本の未来」 講師：雄谷良成氏（社会福祉法人佛子園理事長）	地域住民等 67名
10月16日(火) 西区役所会議室	にこまちスキップ・アップ講座③ 「共に歩んで 共に支え合う～子どもも高齢者も障害者も自分らしく暮らすには～」 講師：大原裕介氏（社会福祉法人ゆうゆう理事長）	地域住民等 61名

(4) にこまちフォーラムの開催

「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」の第3期計画にむけての基調講演と発表会を西区役所・地域ケアプラザと共催で開催しました。

月日・会場	内 容	参加人数
2月16日(土) 西公会堂	テーマ：明日へとつなぐ 地域のきずな ～はじめよう、今日からわたしにできること～ 内容：基調講演 講師：西尾 敦史氏(静岡福祉大学社会福祉部教授) 各地区による活動報告 ほか、 <ロビー展示>各地区活動紹介等のパネル展示、障害者福祉施設等の物品販売など	246名

2 地区支援チームへの参画

各地区が地区別計画を推進するにあたり、区役所・地域ケアプラザ・区社協が地区支援チームとして協働し、チーム打合せや地区別懇談会への参加等を行いました。

① 第一地区

月 日 ・ 内 容
■地区懇談会： 第1回 11月5日(月) 内容：今後の第一地区の取組みに向けて意見交換 ■その他の会議等 高齢支援部会 第1回 4月23日(月) 第2回 7月19日(木) 第3回 9月10日(月) 第4回 1月21日(月) つながり・担い手部会 第1回 5月10日(木) 第2回 8月2日(木) 第3回 12月20日(木) 部会長会議 第1回 5月23日(水) 第2回 9月21日(金) 第3回 1月24日(木) 第4回 3月13日(水) ■支援チーム打ち合わせ 第1回 7月13日(金) 第2回 10月29日(月) 第3回 3月4日(月)

② 第二地区

月 日 ・ 内 容
■地区懇談会 第1回 11月1日(木) 第2回 2月8日(金) 主な内容：拠点訓練の報告、にこまちフォーラム、30年度の振り返りと31年度に向けてなど ■その他の会議等 福祉バス・身障者旅行 10月15日(月) 敬老ふれあい茶話会 10月25日(木) 藤棚らいぶステーションボランティア懇親会 第1回 11月22日(木) 第2回 3月26日(火) ■支援チーム打ち合わせ 第1回 6月14日(木) 第2回 10月30日(火) 第3回 2月6日(水)

③第3地区

月日・内容
<p>■地区懇談会 第1回:6月14日(木) 第2回:11月6日(火) 第3回:2月7日(木) 主な内容:地区別計画(第1~3部会)、にこまちフォーラム、ふれあい春まつり、おでかけ3 など</p> <p>■その他の会議等 地区別計画会議:第1部会(6回) 第2部会(4回) 第3部会(4回) ふれあい春まつり(5/20開催)関係会議:4月5日(木)・12月6日(木)・14日(金)、1月11日(金) 2月4日(月)・23日(土)、3月8日(金)</p> <p>福祉フェスタ:10/6(土)開催 にこまちフォーラム(2/16開催)地区発表打合せ:1月8日(火)・21日(月)</p> <p>■支援チーム打ち合わせ 第1回:5月10日(木) 第2回:9月6日(木) 第3回:12月6日(木) 第4回:3月7日(木)</p>

④第4地区

月日・内容
<p>■理事会 第1回:6月12日(火) 第2回:7月3日(火) 第4回:11月13日(火) 拡大理事会:12月12日(水) 第5回:2月19日(火) 第6回:3月22日(金)</p> <p>■その他の会議等 ふれあい会・友愛会・食事会交流会 第2回:8月27日(月) 第3回:10月1日(月) 第4回:11月5日(月) 第5回:12月3日(月) 振り返り会:2月4日(月)</p> <p>■支援チーム打ち合わせ 第1回:5月16日(水) 第2回:9月5日(水) 第3回:12月5日(水) 第4回:3月6日(水)</p>

⑤第五地区

月日・内容
<p>■地区懇談会 第1回 5月11日(金) 第2回 8月10日(金) 第3回 11月2日(金) 第4回 2月1日(金) 主な内容:第3期地区別計画進捗状況、団体活動紹介、にこまちフォーラムについてなど</p> <p>■その他の会議等 納涼まつり反省会 8月9日(木)</p> <p>■支援チーム打ち合わせ 第1回 5月18日(金) 第2回 9月21日(金) 第3回 12月21日(金) 第4回 3月15日(金)</p>

⑥第六地区

月日・内容
<p>■地区懇談会 第1回 10月27日(土) 第2回 12月15日(土)</p> <p>■その他の会議等 第六地区地域のつどい: 7月7日(土) *テーマ:「災害」</p> <p>■支援チーム打ち合わせ 第1回 5月10日(木) 第2回 7月9日(月) 第3回 10月4日(木) 第4回 1月10日(木) 第5回 3月7日(木)</p>

IX 横浜市西区福祉保健活動拠点「フクシア」の運営（重点項目）

1 拠点の管理・運営

平成29年度より第3期の指定管理者となり、「地域における市民の自主的な福祉保健活動のための場」として多くの方に活用いただけるよう運営を行いました。

(1) 登録状況

①利用登録団体 259団体

ボランティア・市民活動団体	障害児者等当事者団体	その他 (地域団体、福祉保健職域団体)
117団体	44団体	98団体

②メールボックス使用団体 24団体（24個中）

③ロッカー使用団体 38団体（40個中）

(2) 利用状況

部屋名	利用件数・利用率				比較増減
	平成30年度		平成29年度		
団体交流室	1,133件	66.4%	1,104件	66.7%	29
多目的研修室	978件	73.9%	830件	74.9%	148
点字製作室	696件	51.5%	531件	47.9%	165
録音室	194件	29.9%	225件	21.8%	△31
対面朗読室・編集室	739件	73.9%	760件	66.2%	△21
全体	3,740件	59.2%	3,450件	55.5%	290

(3) 利用調整会議

利用登録団体間の交流や、利用に当たっての注意事項の伝達を目的として実施しました。

参加団体に活動内容を紹介していただき、活動者の思いを共有できました。

月日・場所	内容	参加数
2月7日(木) 西区福祉保健活動拠点	○事務局からの注意事項伝達 ○各団体の活動紹介 ○ロッカー・メールボックスの抽選	35団体 43名

(4) 意見箱の設置

団体交流室に市社協の独自システムである「ご意見箱」を設置しました。平成30年度は1件でした。

(5) 拠点を活用した相談窓口の設置（市民局との共催事業）

横浜市市民局人権課と共催し、拠点で「横浜市性的少数者支援事業 よこはまLGBT相談」を実施しました。

頻度：月1回実施(原則毎月第4月曜日夜間)

内容：個別専門相談「よこはまLGBT相談」

相談員：臨床心理士(認定特定非営利活動法人SHIP)

X 法人運営

1 会員、部会・分科会、委員会

(1) 会員

① 正会員

社会福祉施設	31
民生委員児童委員	123
地区社会福祉協議会	6
地区連合自治会・町内会	6
自治会町内会	91
障害者団体等当事者団体	13
ボランティア・市民活動団体	17
社会福祉関係団体	20
行政機関	4
学識経験者	1
正会員合計	312
正会員会費合計①	1,018,500 円

② 賛助会員

法人・団体	87
個人	99
賛助会員合計	186
賛助会費合計②	法人・団体 555,000 円 個人 208,000 円 = 763,000 円

会費合計	① + ② 1,781,500 円
------	-------------------

③ 会員の拡充

区社協の持つネットワークを広げ、地域における活動支援をより積極的に進めるため、会員拡充を図りました。
入会団体 : 4団体

また、会員向け助成金の新設について検討を行いました。

(2) 部会・分科会・委員会

会員同士の交流や課題検討、助成金審査等のため、各種会議を開催しました。

① 部会

【地域福祉関係団体部会】

月日	議 題	結果	人数
3月27日(水)	○平成31年度区社協事業計画及び予算について ○会員向け助成金制度について ○次期区社協理事候補者の選任について	全て承認 された	3団体

【専門機関部会】 ※社会福祉施設等連絡会として位置づけて開催

月日	議 題	結果	人数
3月8日(金)	○社会福祉施設等の地域貢献活動について 西区における取組事例の報告、意見交換・情報交換 ○赤い羽根共同募金施設整備費について ○区社協会員向け助成金について ○次期区社協理事および各種委員候補者の選任について	全て承認 された	10団体 15名

② 分科会

【自治会・町内会分科会】

月日	議 題	結果	人数
3月18日(月)	○次期西区社協 理事候補の選任について ○次期西区社協 各種委員の選任について	全て承認 された	12名

【地区社協分科会】

地区社協会長・副会長、事務局長等、地区社協役員の方が広く出席し、地区社協間の意見交換・課題検討を行いました。(年9回開催)

月日	主な議題	結果	人数
4月26日(木)	○分科会長・副分科会長の選任について ○平成30年度地区社協分科会の進め方について ○地区社協助成金、区社協事業計画について 他	全て承認 された	22名
6月28日(木)	○地区社協研修会について ○子ども食堂・子どもの居場所について 他		20名
7月26日(木)	○ミニ学習会: 赤い羽根共同募金運動について ○地区社協研修振返りについて ○地区社協検討会の報告について 他		24名
9月27日(木)	○西区社協功労者表彰候補者の推薦について ○地区社協カレンダーについて ○共同募金運動への協力について 他		25名
10月25日(木)	○年末たすけあい募金助成について ○地区社協研修の振返りについて ○にこまちライブプロジェクトの進捗状況について 他		21名
11月22日(木)	○赤い羽根共同募金街頭募金実績について ○地区社協検討会の報告について ○にこまちフォーラム、地区社協視察研修について 他		22名
1月24日(木)	○平成31年度地区社協への賛助会費還元金について ○平成30年度よこはまの地区社協全体会について ○地区社協研修振返りについて 他		20名
2月28日(木)	○理事および各種委員会等候補者の推薦について ○次年度の地区社協分科会、助成金等について ○よこはまの地区社協活動(H30年度データ集) ○地区社協検討会報告について 他		21名
3月14日(木)	○次年度の地区社協分科会、賛助会費について ○西区社協会員助成金について *分科会後半では、「経理等事務研修」の実施		24名

※場所はすべて西区福祉保健活動拠点「フクシア」です。

【高齢者福祉関係分科会】

月日	議 題	結果	人数
4月25日(水)	○分科会会長及び副分科会会長の選任について ○区社協H30年度事業計画について ○年間計画について 他	全て承認 された	20名
7月25日(水)	○ふれあい会研修について ○もしもカードについて ○にこまちプランターマ別進捗状況について 他		24名
10月24日(水)	○ふれあい会研修について ○あんしんカードについて 他		23名
1月30日(水)	○ふれあい会研修報告 ○次年度の取り組みについて 他		23名

※場所はすべて西区福祉保健活動拠点「フクシア」です。

【障害福祉関係分科会】

月日	議 題	結果	人数
4月25日(水)	○分科会長・副分科会長の選出について ○本年度障害福祉関係分科会の活動について	全て承認 された	17名 (16団体)
7月13日(金)	○出会いの場づくり事業について ○当事者発地域啓発支援事業について 他		14名 (13団体)
10月19日(金)	○出会いの場づくり事業について ○当事者発地域啓発支援事業について 他		15名 (14団体)
1月18日(金)	○今年度の振り返り・次年度分科会について 他		16名 (15団体)

【児童福祉関係分科会】

月日	議 題	結果	人数
6月27日(水)	○分科会長・副分科会長の選出について ○本年度分科会の活動について ○活動紹介	全て承認 された	16名
2月27日(水)	○「子どもの現状を伝える勉強会」研修 ○平成30年度児童福祉関係分科会振り返りについて ○西区社会福祉協議会平成31年度事業計画について ○情報交換 など		18名

【ボランティア・市民活動分科会】

月日	議 題	結果	人数
5月28日(月)	○本年度分科会長、副分科会長の選出 ○年間計画について ○区社協H30事業計画について ○活動紹介	全て承認 された	19名
8月27日(月)	○ミニ研修会「HUG 研修」 ○共同募金協力について ○区民まつり出店について ○広報「みらい」作成について		18名
10月22日(月)	○区民まつり出店について ○広報「みらい」作成について ○新年のつどいについて ○活動紹介		21名
1月22日(火)	○横浜市社協 福祉ボランティア・市民活動部会委員の推薦について ○第4地区みんなのまつり 参加について ○新年のつどい		7名
2月25日(月)	○次年度分科会役員候補について ○次期西区社協理事の選出について ○広報紙の発行について/ 会員向け助成金について ○次年度分科会について、情報交換 ○H30 区社協事業計画/ 予算について		16名

月日・場所	内容	人数
11月4日(日) 戸部公園	区民まつりへの参加	2名
3月9日(土) 一本松小学校	4地区社協「みんなのまつり」への出店	2名

② 委員会

【社会福祉功労者表彰審査会】

月日	議 題	結果	人数
12月3日(月)	○第36回西区社会福祉功労者被推薦者の審査について	全て承認 された	7名

【助成金等審査委員会】

月日	議 題	結果	人数
5月21日(月)	○平成30年度西区社協ふれあい助成金の審査について	全て承認 された	7名
11月26日(月)	○平成30年度年末たすけあい助成金の審査について ○平成30年度年末たすけあい募金地区社協助成金について		7名

【にこまち助成金審査委員会】

月日	議 題	結果	人数
6月29日(金)	○平成29年度にこまち助成金 助成結果について ○平成30年度にこまち助成金 第2回受付分の審査について	全て承認 された	7名
10月24日(水)	○前回審査委員会の報告について ○平成30年度にこまち助成金 第3回受付分の審査について ○次期にこまち助成金の申請受付期間等について		5名
3月14日(木)	○平成31年度にこまち助成金 第1回受付分の審査について ○平成22年度～平成30年度にこまち助成金助成金一覧 ○にこまち助成金の課題検討について		7名

【ボランティアセンター運営委員会】

月 日	議 題	結果	人数
10月19日(金)	○平成29年度ボランティアセンター事業報告について ○平成30年度ボランティアセンター事業予定について ○ボランティアコーディネートについて	全て承認 された	8名
10月22日(月)	○平成30年度上半期ボランティアセンター事業報告について ○下半期ボランティアセンター事業実施予定について ○善意銀行配分金について		9名
2月25日(月)	○平成31年度ボランティアセンター事業計画(案)について ○平成31年度ボランティアセンター運営委員会について		8名

※場所はすべて西区福祉保健活動拠点「フクシア」です。

3 理事会・評議員会等

(1) 理事会・評議員会・監事会

① 理事会

※すべての議題等について承認、または確認されました。

月 日	議 題	人 数
第1回 6月8日(金)	1. 新規会員加入について 2. 平成29年度事業報告並びに決算について 平成29年度西区福祉保健活動拠点事業報告並びに決算について 3. 監事監査報告について 4. 監事候補者の評議員会への推薦について 5. 評議員選任 解任委員会の招集 並びに本会評議員選任候補者の推薦について 6. 本会の顧問について 7. 評議員会の招集並びに議題について	理事10名 監事 2名
第2回 9月21日(金)	1. 新規会員加入について 2. 平成30年度補正予算案について 3. 基金の運用について 4. 評議員会の招集並びに議題について	理事 9名 監事 2名
第3回 12月20日(木)	1. 新規会員加入について 2. 監事候補者の評議員会への推薦について 3. 会員向け助成金について	理事 8名 監事 2名
第4回 3月6日(水)	1. 平成30年度事業計画案並びに予算案について 平成30年度西区福祉保健活動拠点事業計画案並びに予算案について 2. 平成30年度補正予算案について 3. 評議員会の招集並びに議題について	理事 9名 監事 2名

※場所はすべて西区福祉保健活動拠点「フクシア」です。

② 評議員会

※すべての議題等について承認、または確認されました。

月 日	議 題	人 数
第1回 6月29日(金)	1. 平成29年度事業報告並びに決算について 平成29年度福祉保健活動拠点事業報告及び決算について 2. 監事監査報告について 3. 監事の選任について	評議員 15名 監事 2名
第2回 10月26日(金)	1. 平成30年度補正予算案について	評議員17名 監事 1名
第3回 3月22日(金)	1. 平成31年度事業計画案並びに予算案について 平成31年度西区福祉保健活動拠点事業計画案並びに予算案について 2. 平成30年度第2回補正予算案について 3. 監事の選任について	評議員17名 監事 2名

※場所はすべて西区福祉保健活動拠点「フクシア」です。

③ 監事会

月 日	内 容	人 数
5月30日(水)	平成29年度横浜市西区社会福祉協議会事業実施状況並びに決算について	監事 2名

4 適切な法人運営

(1) 個人情報の適切な管理

「個人情報保護法」と区社協「個人情報の保護に関する規程」に則り、適切な個人情報の管理を行いました。

(2) 情報公開

「社会福祉法」及び本会「情報公開に関する規程」に則り、適切な情報公開を行いました。

H30 情報公開請求 0 件

(3) 苦情受付

受付件数	0件	対応件数	0件
------	----	------	----

(4) 社会福祉充実計画の実施

① 社会福祉功労者表彰(再掲)

区内で地域福祉活動やボランティア活動、福祉施設や事業所等で勤務する職員(常勤および非常勤職員)で功労のあった方に対し、表彰を行いました。

月日・場所	内容	人数
2月22日(金) 崎陽軒本店 6階会議室	受賞者 ・地域福祉活動功労者 44名 ・善意銀行寄付者 1名 ・永年勤続者(常勤) 43名 ・永年勤続者(非常勤) 83名 (重複受賞者1名) セレモニー:(民族音楽)根本ノブヒロ氏・交流会	(受賞者) 170名 (当日) 86名

② 社会福祉施設を対象とした研修および連絡会議の開催 (再掲)

社会福祉法人等の地域貢献活動についての情報共有に向けた連絡会および研修をつぎのとおり開催しました。

日程・場所 平成31年3月8日(金) 西区福祉保健活動拠点フクシア

内容等 【第1部:研修会】参加者 20名

内容:「働き方改革について」

講師:笠 貴裕 氏(横浜北労働基準監督署 監督官)

【第2部:社会福祉施設等連絡会】※西区専門機関部会として開催 参加者 15名

内容:「社会福祉施設等の地域貢献活動について」

5 事務局運営

(1) 事務局運営

① 職員の資質向上

法人内研修の他、外部機関が実施する研修等に事務局職員を参加させ、資質の向上に努めました。

② 事務局会議・窓口職員会議の開催

担当業務進行状況や業務上の課題等を職員全体で共有・検討し、区社協機能の向上につなげるため、常勤職員会議を毎月2回、非常勤職員を含めた窓口職員を対象とした会議を毎月1回実施しました。

X I 福祉関係団体への運営協力・支援

次の福祉関係団体と連携およびサポートを行いました。

神奈川県共同募金会横浜市西区支会	日本赤十字社横浜市西区地区委員会
西保護司会	西区更生保護女性会
西区遺族会	